

事業所名

土佐希望の家医療福祉センター
(児童発達支援、放課後等デイサービス、
保育所等訪問支援)

支援プログラム

作成日

令和7 年

2月

21 目

法人（事業所）理念		利用者の生命、人間としての尊厳及び権利を尊重し良質な医療と豊かな暮らしを提供します。									
支援方針		障害児が生活能力の向上及び社会との交流を図ることができるよう、当該障害児の発達の状況などに応じて、適切かつ効果的な支援や訓練を行います。									
営業時間		9	時	00	分から	18	時	00	分まで	送迎実施の有無	あり なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	・V/S測定、必要に応じてDr診察、医療的ケアや処置等、全身の観察、心電図モニター、酸素投与、医療機器等の管理、医療検査、他医療機関への紹介、リハビリテーション（PT、OT、ST）、発作時の対応（救急搬送を含む）。・食事（経管栄養を含む）、排泄、移乗の介助、ポジショニングや歩行訓練等の支援。・健康面や発達、疾患等に関する保護者さんからの相談対応。・生活リズムの安定、筋緊張が強い場合はマッサージなどのリラックスできる環境の提供や個別対応。									
	運動・感覚	・基本活動計画、状態に応じた個別支援、リハビリテーション（PT、OT、ST）。・歩行介助、体幹装具、四肢装具の装着。・取り組み、レクリエーション、散歩等への参加で身体を動かし、感覚的発達を支援。・感触遊び、音遊び、スヌーズレン、ミュージックケア、トランポリンやハンモック等の活動に参加する事で筋力維持、視覚や聴覚、触覚に働きかける支援。									
	認知・行動	・季節の変化や1日の流れを理解することのできる活動に参加する（音楽、散歩、絵本、手遊び、室内装飾など） ・活動開始前に児の状態に応じた声掛けを行い、必要に応じて絵カードや実物を提示し、感触や感覚を感じてもらい興味・関心をもっていただく支援。 ・リハビリテーション（PT、OT、ST）									
	言語 コミュニケーション	・さまざまな表情、動作などで自身の思いや感情を表現をキャッチし自己決定支援等に取り組んでいる。 ・本人の気持ちを汲み取りながら代弁し、言語化することで気持ちの成長を促す。・日頃の関わりの中で自分の思いを他者に伝えることができる支援。 ・自分の思いや気持ちを表出したり、他児との関わりを意識する支援。・リハビリテーション（PT、OT、ST）									
	人間関係 社会性	・担当者会、学校や行政等を含めた関係機関との報連相。・遊びの中で他者と関わりをもつことができる支援。・リハビリテーション（PT、OT、ST）。 ・集団の中で他者と同じ体験を共有し一体感を感じる支援。・興味のあるものや好きなことを増やして一緒に楽しむことができる支援。 ・異年齢児や支援スタッフとの関わりから他者の存在を知り、触れ合うことで楽しむことができる支援。・意思の表出をしながら他者との関わりをもつことができる支援。									
家族支援		・必要に応じた個別的なペアレントトレーニング支援。 ・送迎時の対面や連絡ノートで保護者さんと情報の共有を図る。 ・関係機関や各関係担当員と連携した支援体制を築いた家族支援。							移行支援		・ライフステージに合わせた移行準備や地域との繋がりに関する支援。・当事業所での状態、支援や様子、課題などタイミングに合わせた情報の共有とサポート支援。
地域支援・地域連携		・行政や医療機関との連携。 ・学校や福祉サービス事業所と連携をおこなう。							職員の質の向上		・義務研修（医療安全、感染対策と予防、褥瘡ケア、医療ガス、放射線基礎知識、薬剤耐性菌基本と対策、ハラスメント、多職種協働、虐待・身体拘束等）。・医療や福祉に関する実践報告。・伝達講習など。
主な行事等		・防災訓練1回/月。 ・1月：お正月書初め、2月：豆まき会、7月：夏祭り、10月：ハロウィンパーティー、12月クリスマス会。 ・希望の家祭、お誕生日会等。									